

2026年度 歴史地理学会第69回大会・総会プログラム

1. 期 日：2026年5月30日（土）・5月31日（日）

2. 会 場：学校法人穴吹学園 セとうち観光専門職短期大学
〒761-0113 香川県高松市屋島西町2366-1 <https://web.seto.ac.jp/about/access/>
交 通：ことでんバス・屋島大橋線「せとうち観光専門職短大前」下車すぐ
(JR高松駅から約20分)、琴平電鉄志度線「沖松島」駅または「瀧元」駅から徒歩20分
*ことでんバス(屋島線)は本数が少ないのでHP等をご覧の上、お越し下さい。
<https://www.kotoden.co.jp/publichtm/bus/rosen/yashimaoohashi/index.html>
*琴平電鉄(志度線) <https://www.kotoden.co.jp/publichtm/kotoden/time/>
*自動車100台を収容する大学専用の駐車場もあります(無料)。

3. 日 程：5月30日（土）

9:20～11:40 ミニ巡検(屋島)

12:00～12:50 評議員会(本館3階・大教室)

13:00～13:40 総会(同上)

14:00～16:00 公開講演会(穴吹学園ホール)

16:10～18:10 懇親会(本館1階ラウンジ)

5月31日(日)

9:30～15:30 研究発表[共同課題シンポジウム](本館3階・大教室)

9:30～16:00 研究発表[自由論題](本館3階の各教室)

4. 公開講演会

演 題：稲田道彦(香川大学名誉教授)

「地理から見た四国遍路一遍路道と景観から」

西海賢二(東京家政学院大学名誉教授)

「民間宗教者と地域社会—石鎚講と四国遍路の接待を絡めて—」

会 場：せとうち観光専門職短期大学・穴吹学園ホール

参加費：無料

5. 研究発表会

自由論題および共同課題シンポジウム「近世・近代移行期の歴史地理」

会 場：せとうち観光専門職短期大学本館3階 大教室, 視聴覚室, 301・302教室

大会参加費：1,000円

*当日, 大会受付で資料集と引き換えにお支払い下さい。

*下記Googleフォームで5月22日(金)までに事前申し込みを必ずして下さい。事前申し込みいただければ, 当日の資料集をお渡しできない場合があります。

6. 懇親会

会 場：せとうち観光専門職短期大学・1階ラウンジ

会 費：3,000円(学生は2,000円)

*当日, 大会受付でお支払い下さい。

*5月22日(金)までに, 下記Googleフォームで参加申し込みをして下さい。

7. 屋 食

昼食を持参されることをお勧めします。学内では食堂等の営業はありません。また、周辺にはレストラン等、ほとんどありません。東方向にスーパー2店舗（「きむら屋島店」（西村ジョイ屋島店内）、「マルナカ屋島店」）があります。

8. 大会参加の事前申し込み

下記URLもしくは右のQRコードから5月22日(金)午前10時までに参加申し込みを受け付けます。回答の記入欄には、お名前・ご連絡先（メールアドレス）、ご所属、会員・非会員の別に加えて、ミニ巡検、総会（不参加の方は委任先）、公開講演会、懇親会、研究発表会のご参加に関する質問項目を設けています。ミニ巡検は先着順といたします（後述）。



大会参加申し込みサイト

* 2026年度歴史地理学会第69回大会参加申し込みサイト（Googleフォーム）

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeb7ttVxotgmp-9TVUxHRlpxYETlbr5AmCxGA0yJki2jOsskw/viewform?usp=dialog>

* ミニ巡検はマイクロバスを使いますので、申し込み先着15名様に限らせていただきます。

* 事前のGoogleフォームでの登録にご協力下さい。

9. 巡 検

テ ー マ：「高松平野の歴史と環境」

集 合 日 時：5月30日（土）9時20分

集 合 場 所：JR高松駅前 花時計

コ ー ス：JR高松駅（発）せとうち観光専門職短期大学マイクロバスにて→屋島山上（駐車場）→屋島寺→やしまーる（展望台）→自由行動→11：10（集合）屋島山上（駐車場）→せとうち観光専門職短期大学（11：40）★マイクロバスを使用

案 内 者：古田 昇（徳島文理大学）、内田忠賢（せとうち観光専門職短期大学）

参 加 費：500円（集合場所で案内者にお支払い下さい）

参 加 定 員：最大15名。ただし、Googleフォームでの事前参加申込の募集を学会HPに先に掲載したところ、すでに定員に達しました。

10. 宿泊情報

各自お申込み下さい。なお、当日は、あなぶきアリーナ（JR高松駅前）にて大きなイベントが開催されるので、早めのご予約をお勧めします。

11. 大会開催中（5月30日・31日）の緊急連絡先

大会実行委員長のアドレス hime59sara@gmail.com または uchida-tadayoshi@g.seto.ac.jp

<協賛>香川地理学会

<大会実行委員会>

内田忠賢（委員長）・吉田雄介（以上、せとうち観光専門職短期大学）

古田 昇（徳島文理大学）、金子直樹（四国学院大学）

12. 研究発表会

◇5月31日 日曜日

●第1会場【シンポジウム】近世・近代移行期の歴史地理

本館3階大教室

- (9:30～ 9:35) 関戸明子 (群馬大) : 趣旨説明
- S101 (9:35～10:10) 長嶋雄毅 (埼玉大) : 明治初期の京都における住民の転入と転出
- S102 (10:10～10:45) 武田周一郎 (神奈川県立歴史博物館) : 近代日本における府県管内図の展開
(休憩)
- S103 (10:55～11:30) 渡辺理絵 (山形大) : 入会林野における官と民での焼畑認識の齟齬
- S104 (11:30～12:05) 山近久美子 (防衛大) : 近世・近代における古代史跡と地域—宮崎県西都原古墳群を事例に—
(昼休憩)
- S105 (13:00～13:35) 鷺崎俊太郎 (九州大) : 近代日本の都市化と旧城下町における外堀の埋立
- S106 (13:35～14:10) 米家志乃布 (法政大) : 近世近代移行期における日本人によるロシア情報とその社会的意義
(休憩)
- (14:20～15:30) コメント・総合討論・総括
コメンテーター 溝口常俊 (名古屋大・名誉)
オーガナイザー 関戸明子 (群馬大)・米家志乃布 (法政大)

●第2会場【自由論題】

本館3階視聴覚室

[座長：小野映介]

- 201 (9:30～10:00) 泉保安夫 (徳島地理学会) : 「海ノ中道」—近世高松の海辺—
- 202 (10:00～10:30) 井村博宣 (日本大) : 明治後期における滋賀県水産試験場と石川千代松等によるコアユ・オオアユ飼育試験の再考

[座長：天野宏司]

- 203 (10:30～11:00) 服部稜歩・山元貴継 (琉球大) : 近代以降における登山道の変遷過程
—九州南部・霧島連山の事例—
- 204 (11:00～11:30) 双木俊介 (東京都立多摩科学技術高) : 明治前期東京における大名屋敷地の農業的利用 —
本郷区西片町・阿部家屋敷地を事例に—
- 205 (11:30～12:00) 中平 要 (筑波大・院) : 名古屋近郊地域における種苗業者の存立
—種苗取引記録からの考察—

(昼休憩)

[座長：宮本真二]

- 206 (13:00～13:30) 神 英雄 (安来市加納美術館) : 堀田仁助『針路之図』の3つの写本について
- 207 (13:30～14:00) 小野映介 (駒澤大)・佐藤善輝 (産業技術総合研究所) :
平安京の設計時に巨椋池は存在したのか

[座長：牛垣雄矢]

- 208 (14:00～14:30) 飛鳥馬めぐみ (筑波大・院) : 近代の東京名所絵葉書にみる浅草公園の風景
- 209 (14:30～15:00) 井口琢人 (大津市役所) : 城郭・要塞史の整理—稜堡式の技術伝播に着目して—
- 210 (15:00～15:30) 天野宏司 (駿河台大) : 横田基地周辺における「米軍ハウス」の拡縮

●第3会場【自由論題】

本館3階301・302教室

【座長：吉野 裕】

301 (9:30~10:00) 花木宏直 (関西学院大)：16世紀奈良における果樹利用に関する予察的考察
— 『多聞院日記』の分析を中心に—

302 (10:00~10:30) 豊田紘子 (千葉経済大)：近代における植物の国際取引と病害虫の知の生成

303 (10:30~11:00) 藤井 純 (関西大・院)：妖怪「鵺」退治譚からみる中世貴族社会の安全圏

【座長：花木宏直】

304 (11:00~11:30) 米家泰作 (京都大)：フォレストの育成・配置・移動にみる近代日本の帝国林業

305 (11:30~12:00) 宮本真二 (岡山理科大)・安藤和雄 (京都大)・市川昌広 (高知大)・吉野馨子 (東京農業大)・大西信弘 (京都先端科学大)・Nityananda Deka (ゴウハティ大)・Md. Rashedur Rahman (バングラデシュ農業大)・浅田晴久 (奈良女子大)：
水害実績図からみたアジア・モンスーン地域の洪水浸水域の変容とその評価

(昼休憩)

【座長：金子直樹】

306 (13:00~13:30) 重永 瞬 (京都大・院)：近現代日本の露店とテキヤに関する基礎的研究

307 (13:30~14:00) 加藤晴美 (東京家政学院大)：近代地方都市における料亭の営業と女性労働
— 愛知県半田春扇楼末廣を事例として—

308 (14:00~14:30) 小森千賀子 (京都大・院)：明治・大正期の京都における電力利用の普及・拡大

【座長：須山 聡】

309 (14:30~15:00) 東道里璃 (沖縄国際大)：19世紀琉球の中城御殿移築における風水思想と空間形成
— 『中城御殿御敷替御普請日記』の分析を通して—

310 (15:00~15:30) 益 大輝 (筑波大・院)：植民地期朝鮮・水原における空間構造と在朝日本人の場所認識

311 (15:30~16:00) 柴田陽一 (愛知県立大)：戦後日本における中国地理研究の展開

<キャンパスと会場>

